

8 第三者評価を受けての感想

平成26年に開設し今回が初めての受審でした。開設年数が浅いこともあり、マニュアルや手順書を新規に作成することが多かったのですが、職員それぞれが役割を分担し、課題検討会や研修で中身の検証をしながらひとつひとつ丁寧に進めてまいりました。その経験は、他の業務においてもPDCAサイクルを意識した取り組みの実践へと繋がり、改善活動の考え方と仕組みが定着してきたことは大きな成果といえます。

今回の受審結果から、十分に組み立てていると考えていた事柄が評価基準に照らして十分でなかったり、取り組みは満足できるものの記録が不十分であったりと、これから取り組むべき課題が明らかになりました。アンケートの結果も参考にしながら、今後も児童発達支援、保護者支援、地域支援のそれぞれのサービスの質の向上に努めてまいりたいと思います。

最後に、職員の志気の高さを評価していただいたことは、職員一人ひとりにとって今後の大きな励みとなります。丁寧に評価していただいた第三者評価機関へあらためて深く感謝を申し上げます。